

American Jazz Festival

平成30年

8月21日 火

18:30
20:30

◆お一人様

¥12,000

(お料理・お飲物・サービス料・消費税込)

ニ戸パークホテル

二戸市榎岡字八幡下69-1 TEL (0195)23-5151

三ハ五グループ

※お子様の同伴はご遠慮下さい。
※駐車場に限りがございます。どうぞご了承下さいませ。



VOCAL/MARU

神戸市出身。4才でピアノを始め、17歳でアメリカに留学の後、本格的に音楽活動開始。セッションワークを重ねる中、ブラックミュージックをベースにしたその抜きん出たボカール・パフォーマンスが各所で脚光を浴び、オファーが殺到。ミュージシャンズミュージシャンとして囑望される本格派シンガーである。

“Superfly”黒沢薫等、日本のトップアーティストのコーラスを経験。上海・カザフスタンでも公演を行ない、国内のみならず国外でも活躍している。

2010年12月には、ソロユニット“Fire Lily”としてファーストアルバム「Eternal Story」をリリース。徳間ジャパンより待望のメジャー

デビューを果たす。2014年よりアーティスト名を元々の活動名“MARU”とし、リニューアルスタート。通算、アルバム2枚・ミニアルバム1枚・シングル1枚をリリースしている。

2011年には、ジャズピアニスト“クリヤ・マコト”のジャズプロジェクトにも参加し、2016年にはクリヤ氏のプロデュースで初のジャズアルバム「I CAN HANDLE IT」をリリース。ジャズ界にもその歌声を響かせた。

2015年、2017年とブロードウェイミュージカル「RENT」にMrs. Jefferson役として出演。代表曲「Seasons of love」のソリストを担う。また2016年6月にはオフブロードウェイミュージカル「Radiant Baby」日本公演にラジオの女役として出演する。



GUITER/渥美幸裕

る。2016年、伝統邦楽が持つ魅力を西洋楽器であるギターというフィルターを通して全世界へ普及、伝承するプロジェクト「邦楽2.0」の活動を開始。平行してタップダンス、パーカッション、ギターのトリオ「Conguero Tres Hoofers」での国内外ツアー、忌野清志郎バンドのメンバーとのポップユニット「サイコービジョンズ」で活動。また、音楽教育として保育園等で音楽を共に創る体験を伝える「おとあそびワーク」を実施。空間の目的を最適化する音の役割へも注目し「Sonic Architecture」事業を展開。木屋町のホテル「Bijuu」、ヴィーガンレストラン「浮島ガーデン京都」等へ実装。音の可能性を最大限活かした活動で世界平和文化交流に取組む。

2003年、ジャズやスタジオミュージシャンとして活動開始。2012年より日本伝統音楽研究のため京都へ。比叡山麓に在る古民家の蔵をスタジオに江戸以前の制作環境や背景を探

愛知県出身。5歳でエレクトーンを始めてからジャズ、フュージョン、ロックなどに傾倒。高校卒業後本格的に音楽家を志し、甲陽音楽学院名古屋校に進学。ジャズ・ピアノを水野修平、竹下清志両氏に師事。在学中より小濱安浩バンドなどでのライブ活動、nobody knows+、S.B.B.のレコーディングへ参加するなど、名古屋のシーンで徐々に頭角を現す。作編曲能力も高く評価され、noon、マヤ・



ハッチ、グレース・マーヤ、大坂昌彦、小林陽一、吉田サトシなどのアルバムに自己の楽曲及びアレンジを提供。2015年夏の爽健美茶(ココロラ)の「爽健美音キャンペーン」でも音楽を担当した。また自己グループの活動以外にも、TOKU、土岐英史、市原ひかり、多田誠司などのバンドメンバーとして国内ジャズ・シーンの第一線で活動する一方で、「ルパン三世」のサウンドトラックを手がける大野雄二氏率いる「大野雄二 & Lupintic Six」らの作品のレコーディングなどにも幅広く参加。多様な鍵盤楽器を同等に扱える柔軟な音楽センスと確かなテクニックで縦横無尽に駆け回る新鋭ピアニスト、オルガニスト、キーボーディストである。

PIANO/宮川純